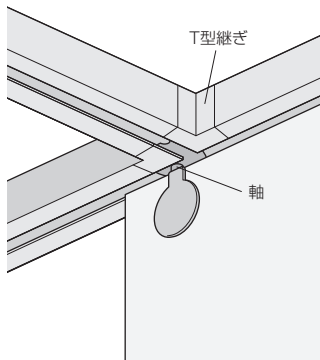


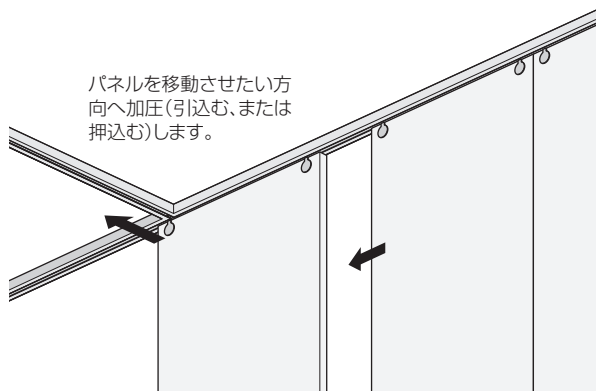
操作方法

■パネルの操作方法について

吊り車の軸部分がT型継ぎの交点にあるときに、パネルを移動させたい方向へ加圧(引込む、または押込む)するとパネルはその方向へ移動していきます。
あわせて、328ページの **ご注意** もご確認ください。



パネルを移動させたい方向へ加圧(引込む、または押込む)します。



■SWボトムタイトの操作方法

ボトムタイトを下げる時

※あらかじめパネルに手を添えて、床の坪受けに位置を合わせながら操作してください。

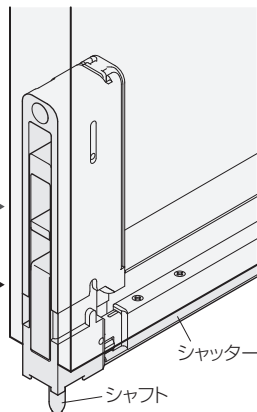
●操作ツマミを2段階下ろします

1段階目

シャフトを下ろしてパネルを固定

2段階目

シャッターを下ろして下隙間をふさぐ
※2段階目の操作は、1段階目より重く感じます。



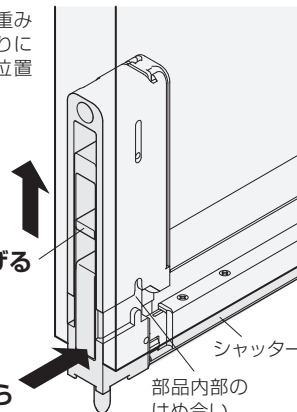
ボトムタイトを上げる時

ボトムタイトを上げる際、シャッターの重みで部品内部に引っ掛かりが生じ、上がりにくい場合があります。その時は、図の位置を押しながら上げてください。

ご注意

※操作時に、部品同士に指をはさんだり、パネルの角でケガをしないよう、ご注意ください。
※パネルを移動させる際は、シャッターが完全に上がっていることを必ずご確認ください。

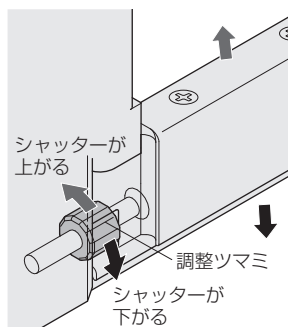
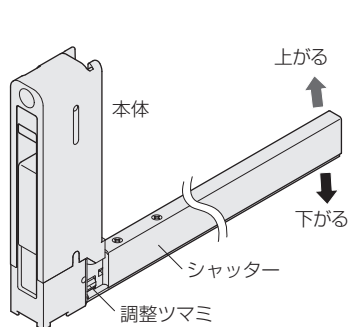
上げる
押しながら



■SWボトムタイト シャッターの垂れ下がり調整

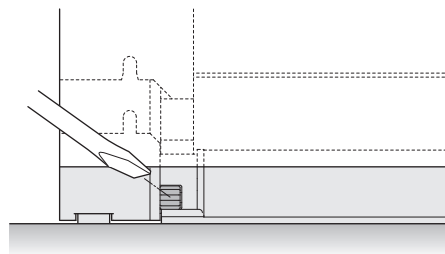
マイナスドライバーで本体の調整ツマミを回して、シャッターの角度を調整します。調整ツマミを上に戻すと上がり、下へ回すと下がります。

※パネル幅の大きさによっては、ボトムタイトを上げた際にシャッターの重みで先端が5mm程度下がる場合がありますが、機能上問題はありません。



ご注意

マイナスドライバーで調整の際は、無理に調整ツマミに差込んでひねったり、床を傷つけたりしないようご注意ください。
パネル幅が広い場合など、調整してもシャッターの先端がわずかに下がる場合があります。



開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
金具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内